

2年通信

第4号
2013年5月29日

学びの話

尾張旭市立旭中学校

この通信は2年生のみなさんと保護者の方々に向けて、編集・発行しています。編集:伊藤

わかるじゃない?!

地図学習でのこと。

T:今日は地図の方位について学習します。

T:①は何といますか?

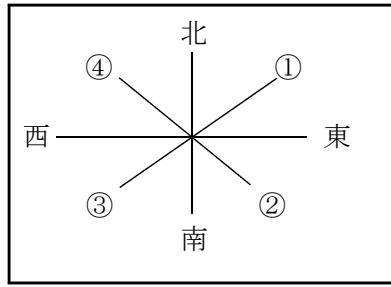
C:北東です。

C:東北です。だって、東北

地方ってじゃない。

T:残念。北東です。②は?

C:東南です。東南アジアとかいうし。



T:なるほどね。でも、南東

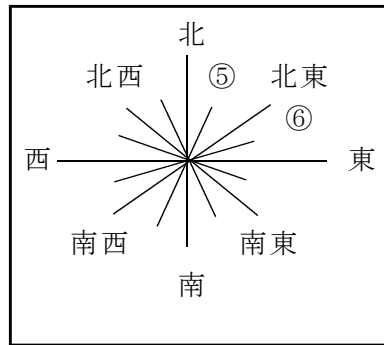
ついでに、③は南西・④は北西です。ここで、法則を見つけてみよう。

C:わかった! 北と南を先にいうんだ。

T:そのとおり。北と南がたてが優先されます。次。

T:⑤の方位を何とよべば

いいのかな?



C:北北東、北北北、東北北、あれ?

T:ううん。悩むよね。今度も先に正解を教えるから、法則を見つけよう。⑤は北北東、⑥は東北北です。

C:見つけた。北東を基準にすると、北に近い北東が

北北東で、東に近い方が東北北だ。

T:そうです。北東をもとにして、4方位に近い方を

頭につけるといいう法則が見つかるよね。

C:ほかの方位もこれでできる。

T:はい。ノートに書いてみよう。(三分後)では、発表し

ましよう。

C:南東と東の間は、東に近いから東南東です。南に近い方は南南東です。

T:正解です。

わかる「わかる」のは、こういうことではないでしょう。わかっている中にしまえば、それを引き出すときは簡単です。

例えば、あのTシャツを着たいというとき、洋服タンヌに整理して置いてある人はすぐ出せます。しかし、タンヌの中にぐちゃぐちゃにしまった人は出すのにひと苦労です。

この場合、16の方位を何も考えずにただ覚えるだけの人は、頭のタンヌの中がぐちゃぐちゃな状態なので、必要なときに引き出せません。覚えただけでは、いずれ忘れられます。

頭が良くなる」ということは、わかる「自分で見つける」学習をするということ。わかめわからず、ただ覚えるという学習は効果が悪くなり、苦労が増えるだけです。

しかし、繰り返しの作業をおして身につけることも学びには必要です。

学校の授業では、この繰り返し時間のたつぷりと確保することはできません。したがって、毎日短時間でもよいので、家庭学習で繰り返すということが必要になります。

特に、国語の漢字・数学の計算社会や理科の用語英語の単語などは、繰り返し身につけてほしいと思います。

授業で「わかる」として、家庭学習で「繰り返す」ことをバランスよく行うことが、今のみなさんに必要だと思えます。

今回の中間テストは、五教科すべて、出題者の期待値を下回る平均点でした。特に、英語と社会は、一年生の学年末テスト以降に学習した範囲の出来がよくありませんでした。

次の期末テストは、テスト範囲のすべてを復習してください。みなさんの頑張りを期待しています。